

朝霞市道舗装修繕計画  
(個別施設計画)

令和2年3月

朝霞市

令和4年9月9日修正

## 目次

1. 舗装の現状と課題	1
1. 1. 管理道路の現状	1
1. 2. 舗装修繕予算の現状	1
1. 3. 舗装の現状	2
2. 舗装の維持管理の基本的な考え方	4
2. 1. 舗装管理の基本方針	4
2. 2. 管理道路の分類（グループ分け）	4
2. 3. 管理基準	4
2. 4. 点検方法・点検頻度	5
3. 計画期間	5
4. 対策の優先順位	5
5. 舗装の状態、対策内容、実施時期	5
5. 1. 診断結果	5
5. 2. 対策内容と実施時期	6

## 1. 舗装の現状と課題

### 1. 1. 管理道路の現状

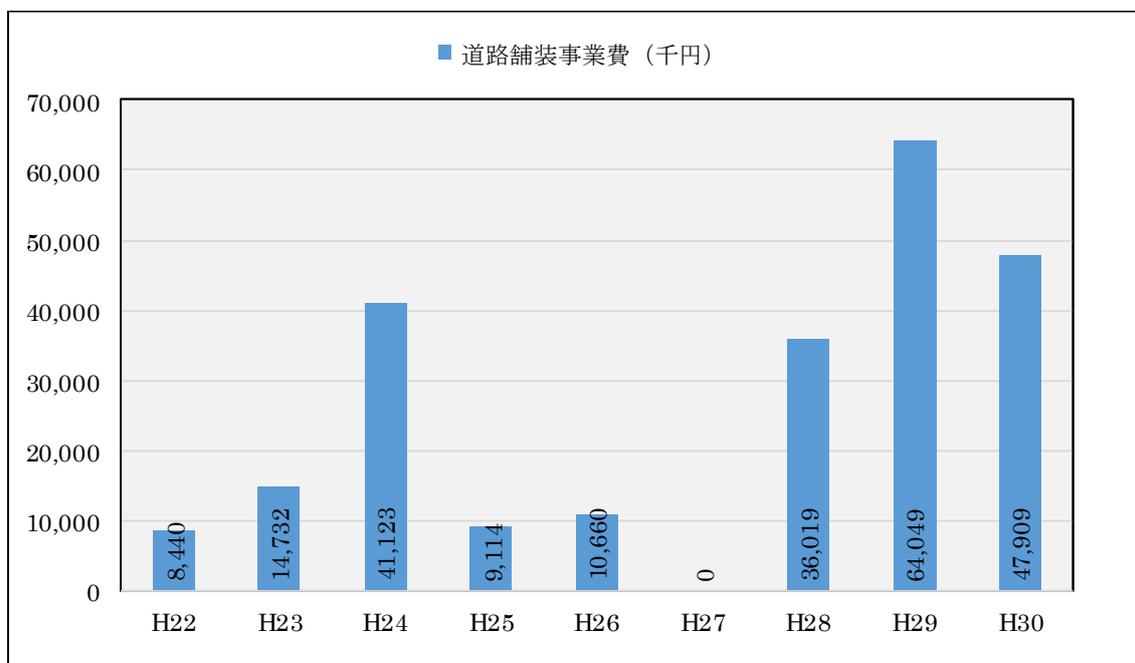
平成31年3月現在、朝霞市が管理する道路の総延長は249.3kmであり、その内舗装延長の合計は235.0km（舗装率94.3%）となっている。

管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		As 舗装	Co 舗装	
1級道路	25.3km	25.3km	0.0km	100.0%
2級道路	18.3km	18.3km	0.0km	100.0%
その他道路	205.7km	188.7km	2.7km	93.0%
合計	249.3km	232.2km	2.8km	94.3%

### 1. 2. 舗装修繕予算の現状

朝霞市の舗装修繕に関する予算（執行額）の推移は以下のとおりである。年度によって金額に大きな開きがあるものの、平成28年度からは比較的多い状態が続いていると言える。



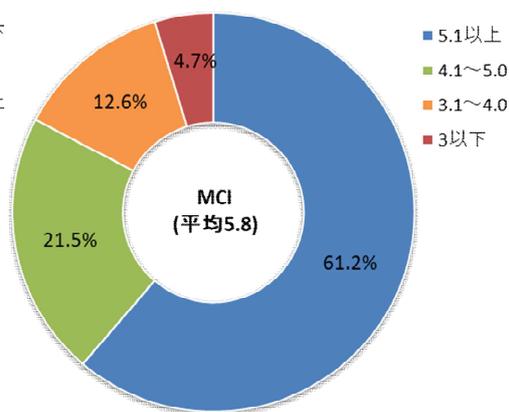
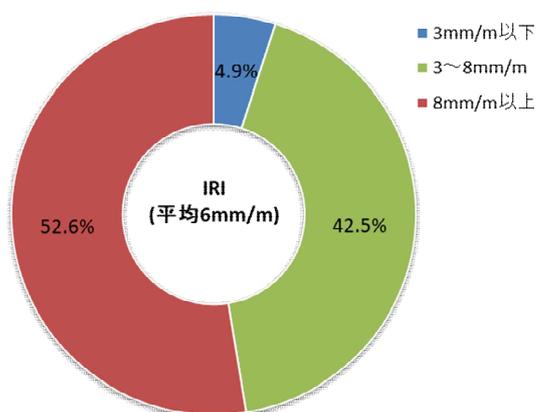
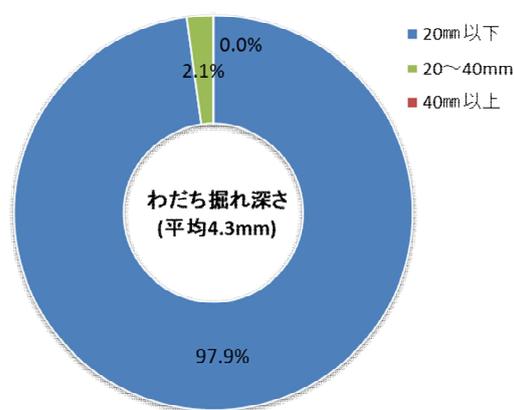
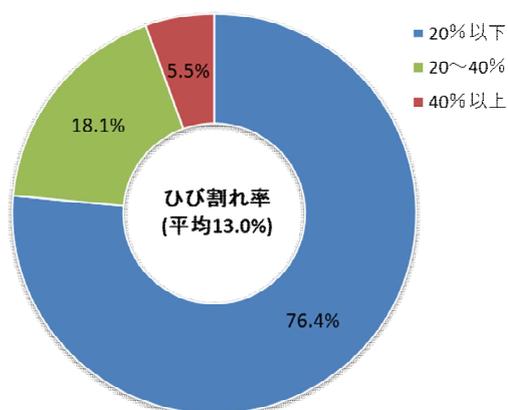
過年度における舗装修繕費

### 1. 3. 舗装の現状

本計画の策定に先立ち、平成29年度に舗装の現状を把握するための路面性状調査を実施した。調査対象は朝霞市が管理する1・2級道路にその他道路の一部を加えた約120kmで、その結果は以下のとおりである。

平成29年度路面性状調査結果まとめ

項目		大 ← 損傷レベル → 小			平均
		40%以上	20~40%	20%以下	
ひび割れ率		40%以上	20~40%	20%以下	13.0%
	延長(m)	6688	21929	92708	
	割合(%)	5.5%	18.1%	76.4%	
わだち掘れ量		40mm以上	20~40mm	20mm以下	4.3mm
	延長(m)	0	2599	118726	
	割合(%)	0.0%	2.1%	97.9%	
IRI		8mm/m以上	3~8mm/m	3mm/m以下	6mm/m
	延長(m)	63780	51540	6005	
	割合(%)	52.6%	42.5%	4.9%	
MCI		3以下	3.1~4.0	4.1~5.0	5.8
	延長(m)	5715	15263	26036	
	割合(%)	4.7%	12.6%	61.2%	



調査の結果、対象路線約120kmにおける各項目の平均値は、ひび割れ率が13.0%、わだち掘れ量が4.3mm、IRIが6mm/mであった。これを「舗装点検要領」（国土交通省，平成28年10月）に基づき評価すると、ひび割れ率とわだち掘れ量は損傷レベル小となり、IRIは損傷レベル中となる。また、舗装の状態を総合的に表す指標であるMCI（維持管理指数）の平均値は5.8であり、全体的に見ると望ましい管理水準にあるといえる。

しかしながら、修繕が必要とされるMCI4.0以下の区間は全体の17.3%を占めており、また、近い将来に修繕対象となるであろうMCI4.1～5.0の区間も21.5%を占めていることから、今後修繕ストックの増大が予想される。

### MCI における評価区分

維持修繕の判断基準	MCI
望ましい管理水準	5.1 以上
修繕することが望ましい	4.1 ~ 5.0
修繕が必要	3.1 ~ 4.0
早急に修繕が必要	3.0 以下

## 2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

### 2. 1. 舗装管理の基本方針

1・2級道路などの重要路線については、舗装損傷状況に応じた適切な措置を計画的に行うことで、舗装の長寿命化や維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指すものとする。また、それ以外の道路については、巡視結果や住民通報を基にした小規模補修を適宜行うことで、舗装の機能維持に努めるものとする。

### 2. 2. 管理道路の分類（グループ分け）

「舗装点検要領」で定める道路の分類に従い、朝霞市が管理する道路を以下のとおり分類する。

#### 朝霞市の管理道路の分類

分類	対象路線
分類Cの道路	1・2級道路
分類Dの道路	その他道路

## 道路の分類

特性	分類	主な道路※1 (イメージ)
・高規格幹線道路 等 (高速走行など求められるサービス水準が高い道路)	A	高速道路
・損傷の進行が早い道路 等 (例えば、大型車交通量が多い道路)	B	直轄国道
・損傷の進行が緩やかな道路 等 (例えば、大型車交通量が少ない道路)	C	補助国道 県道
・生活道路 等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響が無ければ長寿命)	D	政令市 一般市道 市町村道

出典：「舗装点検要領」（国土交通省，平成28年10月）

### 2. 3. 管理基準

修繕実施の判断基準には、路面の状態を総合的に表す指標である MCI（維持管理指数）を採用する。MCI4.0 以下の場合には区分Ⅲ（修繕段階）と判断し、損傷状況に応じた適切な修繕措置を講ずるものとする。

#### 管理指標及び修繕実施の判断基準（管理基準）

分類	管理基準	診断区分	状態
分類Cの道路	MCI5.1 以上	区分Ⅰ (健全)	損傷レベル小
	MCI4.1～5.0	区分Ⅱ (表層機能保持段階)	損傷レベル中
	MCI4.0 以下	区分Ⅲ (修繕段階)	損傷レベル大
分類Dの道路	補修が必要と判断された時点		

## 2. 4. 点検方法・点検頻度

分類Cの道路については、全線を対象とした路面性状調査を、10年に1回の頻度で実施する。また、調査を行わない期間及び対象外である分類Dの道路についても、日々の巡視を活用し、積極的に路面状況の把握に努めるものとする。

### 点検方法・点検頻度

分類	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	路面性状調査	10年に1回
	巡視による路面状況把握（適宜）	
分類Dの道路	巡視による路面状況把握（適宜）	

## 3. 計画期間

本計画の計画期間は、10年（令和2年～11年）とする。

## 4. 対策の優先順位

原則として舗装損傷状況（MCI）がより深刻な区間から対策を実施していく。ただし、道路占用事業者による舗装復旧の予定や地域住民からの要望等も考慮の上、総合的に判断するものとする。

## 5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

### 5. 1. 診断結果

平成29年度に点検した分類Cの道路の診断結果は、以下のとおりである。

### 診断結果（平成29年度）

分類	区分	区分Ⅰ (MCI5.1以上)	区分Ⅱ (MCI5.0～4.1)	区分Ⅲ (MCI4.0以下)
	分類Cの道路		23.2km	11.0km

## 5. 2. 対策内容と実施時期

区分Ⅲ（MCI4.0以下）と診断された区間については、切削オーバーレイ（表層等）を中心とした工法により修繕措置を実施していく。ただし、MCI3.0以下の区間については、路盤以下まで損傷が進行している可能性があるため、現地の状態をよく確認の上、路盤を含めた舗装打換え工法等の適切な措置を講ずるものとする。

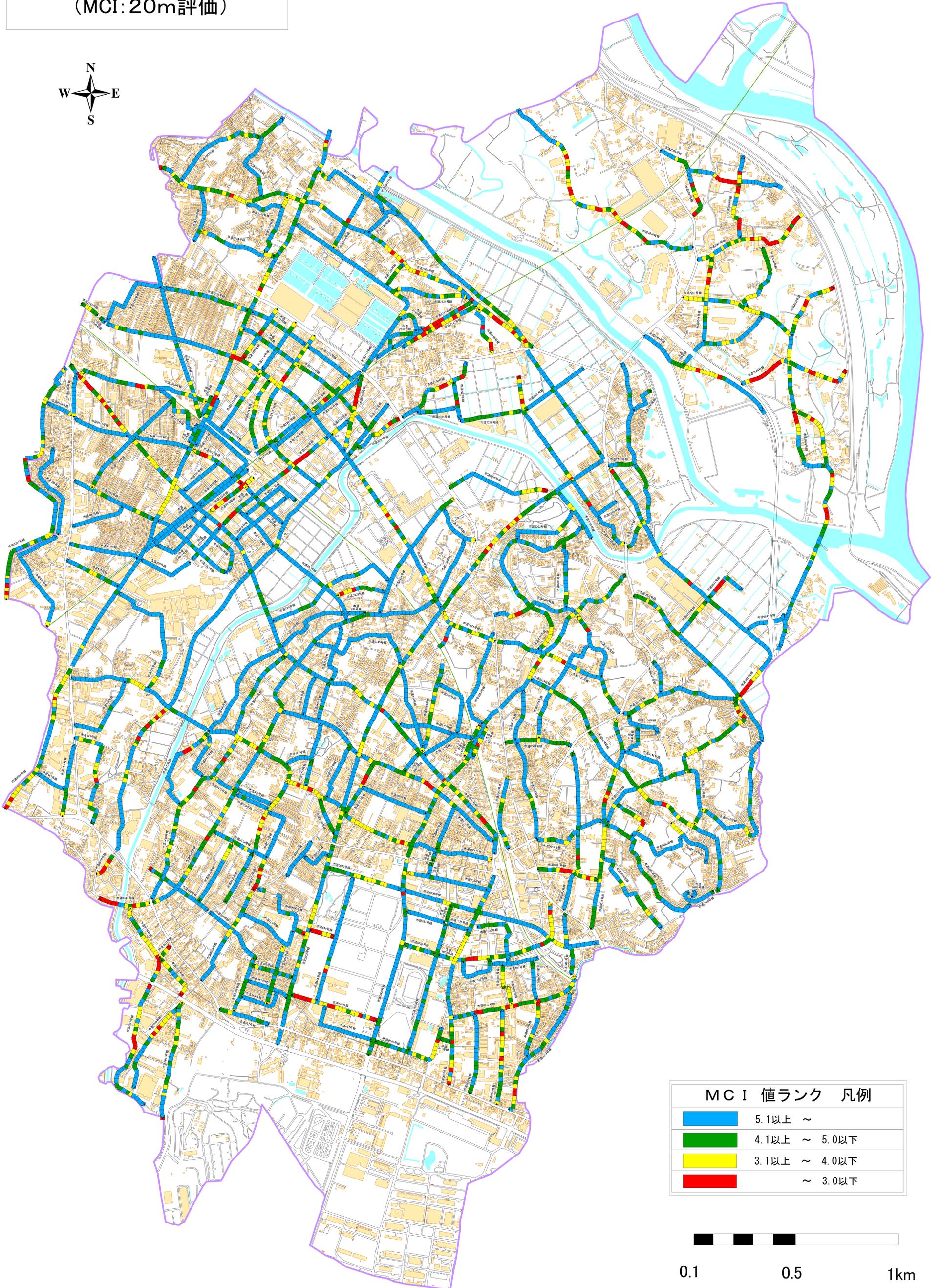
なお、実施時期については、「4. 対策の優先順位」の考え方にに基づき、年度ごとに修繕実施箇所を選定していくものとする。

○朝霞市舗装修繕計画一覧表

(令和2年3月策定)

番号	道路分類	道路区分	路線名	供用開始日	延長(m)	点検年度	舗装損傷状況(MCI)					診断結果	要補修延長(m)	過年度施工延長(m)	修繕実施率(%)	令和2年度修繕計画			
							3.0以下(m)	3.1~4.0(m)	4.1~5.0(m)	5.0以上(m)	平均					修繕工法	施工延長(m)	費用(千円)	備考
1	C	1級	市道 1 号線	S61.7.1	3296.65	H29	280	440	875	1675	5.3	Ⅲ	720	0	0.0				
2	C	1級	市道 2 号線	S61.7.1	3404.97	H29	80	500	1070	1705	5.2	Ⅲ	580	0	0.0	切削OL	220	22,000	
3	C	1級	市道 3 号線	S61.7.1	2292.35	H29	80	360	420	1405	5.7	Ⅲ	440	0	0.0				
4	C	1級	市道 4 号線	S61.7.1	2496.14	H29	140	220	185	1916	6.9	Ⅲ	360	0	0.0				
5	C	1級	市道 5 号線	S61.7.1	2400.18	H29	80	560	420	1340	5.9	Ⅲ	640	0	0.0				
6	C	1級	市道 6 号線	S61.7.1	984.84	H29	0	60	220	705	6.7	Ⅲ	60	0	0.0				
7	C	1級	市道 7 号線	S61.7.1	1089.43	H29	60	280	260	489	5.2	Ⅲ	340	0	0.0				
8	C	2級	市道 8 号線	S61.7.1	2829.87	H29	40	305	875	1585	5.5	Ⅲ	345	0	0.0				
9	C	1級	市道 9 号線	S61.7.1	3708.33	H29	175	805	820	1883	5.5	Ⅲ	980	0	0.0				
10	C	2級	市道 10 号線	S61.7.1	2224.35	H29	20	180	704	1320	5.4	Ⅲ	200	0	0.0				
11	C	2級	市道 11 号線	S61.7.1	592.42	H29	12	140	180	260	5.2	Ⅲ	152	0	0.0				
12	C	2級	市道 12 号線	S61.7.1	689.21	H29	100	104	320	165	4.5	Ⅲ	204	0	0.0				
13	C	2級	市道 13 号線	S61.7.1	683.13	H29	40	123	160	360	5.0	Ⅲ	163	0	0.0				
14	C	2級	市道 14 号線	S61.7.1	1123.67	H29	20	160	365	580	5.3	Ⅲ	180	0	0.0				
15	C	2級	市道 15 号線	H21.8.28	617.55	H29	0	40	160	380	5.9	Ⅲ	40	0	0.0				
16	C	2級	市道 16 号線	S61.7.1	283.53	H29	80	124	60	20	3.5	Ⅲ	204	0	0.0				
17	C	2級	市道 17 号線	S61.7.1	377.92	H29	0	0	0	378	6.7	I	0	0	100.0				
18	C	2級	市道 18 号線	S61.7.1	1058.75	H29	40	241	380	400	4.8	Ⅲ	281	0	0.0				
19	C	2級	市道 19 号線	S61.7.1	402.34	H29	0	0	242	160	5.2	Ⅱ	0	0	100.0				
20	C	2級	市道 20 号線	S61.7.1	744.25	H29	20	140	183	400	5.6	Ⅲ	160	0	0.0				
21	C	2級	市道 21 号線	S61.7.1	310.91	H29	0	151	100	60	4.1	Ⅲ	151	0	0.0				
22	C	2級	市道 22 号線	H21.8.28	1490.89	H29	140	90	180	1085	5.8	Ⅲ	230	0	0.0				
23	C	1級	市道 643 号線	S61.7.1	372.32	H29	0	140	140	92	5.0	Ⅲ	140	0	0.0				
24	C	2級	市道 650 号線	S61.7.1	164.77	H29	0	20	85	60	5.4	Ⅲ	20	0	0.0				
25	C	2級	市道 693 号線	S61.7.1	310.68	H29	0	20	71	220	5.4	Ⅲ	20	0	0.0				
26	C	2級	市道 841 号線	H22.2.1	194.59	H29	0	0	0	160	8.1	I	0	0	100.0				
27	C	1級	市道 1000 号線	H8.4.10	1005.70	H29	0	120	100	786	6.2	Ⅲ	120	0	0.0				
28	C	2級	市道 1003 号線	H8.4.10	758.92	H29	100	259	225	175	4.4	Ⅲ	359	0	0.0				
29	C	2級	市道 2001 号線	S61.7.1	2286.15	H29	100	650	660	876	4.8	Ⅲ	750	0	0.0				
30	C	1級	市道 2002 号線	S61.7.1	2136.76	H29	190	675	600	645	4.7	Ⅲ	865	0	0.0				
31	C	1級	市道 2003 号線	S61.7.1	1865.3	H29	20	125	480	1225	5.5	Ⅲ	145	0	0.0				
32	C	2級	市道 2005 号線	S61.7.1	622.71	H29	200	223	120	80	3.6	Ⅲ	423	0	0.0				
33	C	2級	市道 2006 号線	S61.7.1	668.02	H29	120	40	100	408	5.2	Ⅲ	160	0	0.0				
34	C	1級	市道 2178 号線	H21.8.28	320.48	H29	0	0	120	200	5.8	Ⅱ	0	0	100.0				
35	C	1級	市道 2264 号線	S61.7.1	109.58	H29	0	40	70	0	4.2	Ⅲ	40	0	0.0				
36	C	1級	市道 2349 号線	H7.9.29	38.21	H29	0	0	18	20	4.8	Ⅱ	0	0	100.0				
							2,137	7,335						9,472	合計				
															220	22,000			

平成29年度 朝霞市  
路面性状評価図  
(MCI:20m評価)



MCI 値ランク 凡例	
	5.1以上 ~
	4.1以上 ~ 5.0以下
	3.1以上 ~ 4.0以下
	~ 3.0以下



0.1                      0.5                      1km